

令和2年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	16-	1	
事業名	保育園運営費	会計	款	項	目
政策	2 次世代を育むために	一般	3	2	3
施策	2-1 子育て支援の充実	課名	学校教育課		
		係名			

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	乳児、幼児期の子育て中の保護者	目的 (対象がどのような状態になっているか)	安心して子育て支援、保育サービスを利用する。
事業内容	①〔臨時職員賃金〕充実した子育て支援及び園運営ができるよう臨時職員を適材適所で任用する。 ②〔病児保育支援事業負担金〕突発的な病気で園が預かれない子どもを桑名市と提携し市内医療機関で一時的に預かる。 ③〔一時保育園児傷害保険負担金〕未就園児の一時的な保育をみなみ保育園で実施する。 ④〔一般消耗品費〕子どもが伸び伸びと使える折り紙や画用紙代を保護者負担にせず保障する。 ⑤〔社会見学補助金〕全額保護者負担にならないよう社会見学費の一部を補助する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度 (目標)
	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
			令和元年度 (決算)		令和2年度 (決算)		令和3年度 (予算)	
全体事業費 (千円) A+B			110,217		95,498		72,253	
財源内訳	直接事業費 A		108,219		92,150		68,887	
	うち一般財源		50,087		39,439		11,505	
人件費 (千円) B			1,998		3,348		3,366	
内訳	一般職員 (人・千円)		0.03		198		0.03	
	臨時職員 (人・千円)		1.00		1,800		1.76	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 (事業内容を現在の規模を超えて拡充すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	幼児教育の無償化に伴い、町内の保育ニーズも高まっています。待機児童を出さないよう環境の整備を行っていきます。	③取組の課題	保育園の利用者が増加し、R3年度は待機児童が出ている。保育士の確保には大きな課題があること、施設的にも限界に近い。
②R2年度に実施した取り組み	安心して仕事と子育てが両立出来る環境での保育運営を行ないました。	④今後の改善計画	利用者が増加し、今後も待機児童が出る可能性がある、保育士不足が深刻なため、私立保育所や派遣職員等を活用し保育士を確保していく。

令和2年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	16-	2
事業名	学校教育事務局経費	会計	款	項
		一般	10	1
目				2
政策	5 子どもたちの生きる力を育むために	課名	学校教育課	
施策	5-1 幼児教育・学校教育の充実	係名		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町内の幼保小中の園児、児童、生徒	目的 (対象がどのような状態になっているか)	確かな学力が定着し、社会に貢献しようとする意欲がもてるようにする。
事業内容	①〔16年一貫教育プラン実践事業〕第3段階として保護者の子育て教育力の向上を図る。 ②〔学校図書館司書配置委託料〕充実した学校図書館運営を行い子どもたちの読書習慣の定着を図る。 ③〔教職員指導力向上対策事業〕指導力向上委員が定期的に学校訪問し授業参観後、個別指導を行う。 ④〔巡回相談員派遣事業〕学校心理士等による教育相談や、要請があった学校へ巡回相談員を派遣し指導助言を行う。 ⑤〔町教育研究費補助金〕保育者、教職員の主体的な研修、研究の機会を保障する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度 (目標)
	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
			令和元年度 (決算)		令和2年度 (決算)		令和3年度 (予算)	
全体事業費 (千円) A+B			13,593		10,985		28,735	
財源内訳	直接事業費 A		13,395		10,787		28,519	
	うち一般財源		6,424		10,787		28,351	
人件費 (千円) B			198		198		216	
内訳	一般職員 (人・千円)		0.03		198		0.03	
	臨時職員 (人・千円)		0		0		0	
			0		0		0.01	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適正である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	16年一貫教育プランに基づく、子育てのポイントやコツを保護者に啓発・共有し、子育てに係る保護者の不安を軽減し、孤立化させない取り組みを各園・校で進める。	③取組の課題	子育てに不安や悩みを持つ保護者の支援を行う。園校における若手職員や経験の浅い職員を育成 (本町の教育理念や16年一貫教育プランの理解と実践) する。
②R2年度に実施した取り組み	子育て手引き版 (中学生用) を用いた、中学生保護者対象の子育て学習会、学童保育所 (放課後児童クラブ) 職員対象の16年一貫教育プラン学習会を実施する。	④今後の改善計画	前年度同様、保護者や地域、他の関係機関を含めて、16年一貫教育プランの啓発を進め、多くの理解・協力のもとで、町全体が一体となった子育て・保育・教育の実現に努める。

令和2年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	16-	3
事業名	ALT派遣事業	
会計	款	項
一般	10	1
目		2
政策	5 子どもたちの生きる力を育むために	
課名	学校教育課	
施策	5-1 幼児教育・学校教育の充実	
係名		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	目的 (対象がどのような状態になっているか)	・英語を使って、積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲をもてるようにする。 ・外国語に関する指導力が向上する。
事業内容	①【外国語指導助手派遣事業】園では5歳児を中心に学期に1回程度訪問し、英語に親しむ活動を行う。 小学校では、5、6年生の外国語、または3、4年生の外国語活動を対象に平均1クラス週1時間の授業を英語教育推進教員と綿密な打ち合わせをしながらH32全面実施の学習指導要領に則った授業を行う。中学校では、英語科の指導助手として、全ての学年を対象に平均1クラス週2時間の授業を行う。 ②【16年一貫教育プラン実践事業】ALTの協力を得ながら東員学び検定の英語版テキストを作成する。ALTが検定員となり小学校で行う英語検定の4技能のテストを行う予定。		

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度 (目標)
	1	中学校英語時間数 (週/クラス)	2	2	2	時間		2
2	小学校外国語活動 (学期/クラス)	1	1	1	時間		1	
3	小学校外国語活動5、6年 (週/クラス)	2	2	2	時間		2	
4								
5								
			令和元年度 (決算)		令和2年度 (決算)		令和3年度 (予算)	
全体事業費 (千円) A+B			1,421		892		515	
財源内訳	直接事業費 A		761		232		449	
	うち一般財源		761		232		449	
人件費 (千円) B			660		660		66	
内訳	一般職員 (人・千円)		0.10		660		0.01	
	臨時職員 (人・千円)				0		0	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	特に今年度から本格実施となる小学校3、4年生の外国語活動、5、6年生の外国語 (英語) の授業において、言語活動の更なる充実を図るため、担当教員と連携しながら授業をサポートする。	③取組の課題	3名のALTを雇用しているが、各中学校で1名ずつ、小学校6校で1名であり、今年度から小学校の外国語 (5、6年) が教科化され、小学3、4年の外国語活動含め、ALTの需要が増している。
②R2年度に実施した取り組み	小中学校の外国語 (英語) の授業に加えて、幼稚園6園でも外国語に触れる活動をALTが行い、幼少期から小学校、中学校へと連続して、外国人との会話に触れる機会を設ける。	④今後の改善計画	前年度に引き続き、専科教員等とALTが連携しながら、積極的・効果的な活用を進める。

令和2年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	16-	4
事業名	学校管理経費（小学校費）	
会計	一般	
款	10	
項	2	
目		1
政策	5 子どもたちの生きる力を育むために	課名
施策	5-1 幼児教育・学校教育の充実	係名
		学校教育課

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	特別な教育的支援が必要な児童	目的 (対象がどのような状態になっているか)	一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援を行い、生活や学習上の困難を改善又は克服できるようにする。
事業内容	〔学校教育環境の条件整備〕時勢に応じた、学習環境の整備を行います。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度（目標）
	1						
	2						
	3						
	4						
	5						
			令和元年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（予算）		
全体事業費（千円）A+B		55,052		194,535	24,888		
財源内訳	直接事業費A		54,854		194,337	24,672	
	うち一般財源		54,854		149,541	24,672	
人件費（千円）B		198		198	216		
内訳	一般職員（人・千円）		0.03		198	0.03	198
	臨時職員（人・千円）				0	0	0
						0.01	18

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画		③取組の課題	
②R2年度に実施した取り組み	新型コロナウイルスへの対策として、非接触型体温計やアルコール消毒液、扇風機や空気清浄機などを購入、熱中症対策として、テントや冷風機を購入した。また、GIGAスクール用タブレットを児童数分購入した。	④今後の改善計画	新型コロナウイルスの拡大により、新しい生活様式に係る環境整備が必要。

令和2年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	16-	5
事業名	教育振興経費（小学校費）	
会計	款	項 目
一般	10	2 2
政策	5 子どもたちの生きる力を育むために	
課名	学校教育課	
施策	5-1 幼児教育・学校教育の充実	
係名		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	各小学校の児童	目的 (対象がどのような状態になっているか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業改善を行い教師の指導力を向上させる。</li> <li>・いじめ、不登校等の未然防止、早期発見、早期対応を可能にする。</li> <li>・児童の課題解決能力を高める。</li> </ul>
事業内容	①〔学力向上推進事業〕総合学力調査を定期的実施する。その結果において、D層に入っている児童をC層以上へ引き上げるためにどう授業を改善したらいいかを各校で考える。 ②〔不登校児童生徒対策事業〕QU調査（学級生活満足度調査）を学期に1回実施し、児童や学級の状況を把握する。課題については、全職員が共有し、改善、解消に向けて具体的な取組を行う。 ③〔特色ある学校づくり事業〕学校裁量の予算措置をすることによって、学校独自の計画に基づいた主体的かつ特色ある教育活動を推進する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度（目標）	
	1	目標値に達した児童数の割合（国・算）	85.6	85.5	84.3	%		82.5	
2	不登校の児童数	9	11	8	人		0		
3	不登校の生徒数								
4									
5									
			平成30年度（決算）	令和元年度（決算）	令和2年度（予算）				
全体事業費（千円）A+B				17,484	14,223		17,868		
財源内訳	直接事業費A			17,286	14,025		17,670		
	うち一般財源			17,286	12,402		15,787		
人件費（千円）B				198	198		198		
内訳	一般職員（人・千円）			0.03	198	0.03	198	0.03	198
	臨時職員（人・千円）				0		0		0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	全児童を対象に総合学力調査（IRT）を実施し、D層10%未満を目標に学力向上と授業力改善を図る。全児童を対象に学級満足度調査（QU調査）を実施し、個々にきめ細かい支援を行い、より良い学級集団作りに活用する。	③取組の課題	IRTにおいては、D層10%未満児童に焦点を当てた、個別指導や授業改善をさらに進める必要がある。
②R2年度に実施した取り組み	全校全学年においてIRTの結果を行い、D層の児童を焦点化しながら、学力向上が図れる授業作りに取り組み。年間3回（1年生は2回）のQU調査結果に基づき、個々や学級の状況を把握し、問題行動や不登校の未然防止や早期対応に活かす。	④今後の改善計画	前年度に引き続き、IRTやQU調査の結果を効果的に活用し、問題行動や不登校の未然防止や早期対応に努め、きめ細かい支援を行う。

令和2年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	16-	6	
事業名	教材整備費（小学校費）	会計 一般	款 10	項 2	目 2
政策	5 子どもたちの生きる力を育むために	課名	学校教育課		
施策	5-1 幼児教育・学校教育の充実	係名			

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象 各小学校の児童	目的 (対象がどのような状態になっているか)	より良い環境で教育を受けることができる。
事業内容	小学校教育に必要な教材（消耗品・備品・教科書等）を購入する。		

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度（目標）
	1						
	2						
	3						
	4						
	5						
			令和元年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（予算）		
全体事業費（千円）A+B			6,734	6,787	8,963		
財源 内訳	直接事業費A		6,734	6,787	8,963		
	うち一般財源		6,734	6,787	8,963		
人件費（千円）B			0	0	0		
内訳	一般職員（人・千円）			0	0	0	
	臨時職員（人・千円）			0	0	0	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性		有効性	目標達成度	
		町関与の必要性		効率性	対象者の適切性	
					コストの削減	
総合評価	II 継続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画		③取組の課題	
②R2年度に実施した取り組み		④今後の改善計画	

令和2年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	16-	7
事業名	特色のある学校づくり事業経費（小学校費）	会計 一般	款 10	項 2 目 2
政策	5 子どもたちの生きる力を育むために	課名	学校教育課	
施策	5-1 幼児教育・学校教育の充実	係名		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象 各小学校の児童	目的 (対象がどのような状態になっているか)	・地域や子どもたちの状況に応じた学校独自の教育を受けることができる。
事業内容	【特色ある学校づくり事業】学校裁量の予算措置をすることによって、学校独自の計画に基づいた主体的かつ特色ある教育活動を推進する。		

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度（目標）
	1						
	2						
	3						
	4						
	5						
			令和元年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（予算）		
全体事業費（千円）A+B					1,199		
財源 内訳	直接事業費A				1,199		
	うち一般財源				1,199		
人件費（千円）B				0			
内訳	一般職員（人・千円）				0		
	臨時職員（人・千円）				0		

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性		有効性	目標達成度	
		町関与の必要性		効率性	対象者の適切性	
					コストの削減	
総合評価						

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画		③取組の課題	
②R2年度に実施した取り組み		④今後の改善計画	

令和2年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	16-	8
事業名	学校管理経費（中学校費）	
会計	款	項
一般	10	3
目		1
政策	5	子どもたちの生きる力を育むために
課名	学校教育課	
施策	5-1	幼児教育・学校教育の充実
係名		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	小中学校の児童・生徒	目的 (対象がどのような状態になっているか)	確かな学力を着実に身につけ、総合学力調査結果において、D層を10%未満にする。
事業内容	国・県からの加配にあわせて小中学校に非常勤講師を配置し、基本的には30名以上の学級において、国語、算数、数学、英語等の教科で少人数指導（授業）を実施する。状況に応じて、T T（チームティーチング）または少人数指導（均等割、習熟度、理解速度別等）の形態にする。中学校において定数上、配置できない教科の非常勤講師を任用し教科指導を行う。加えて国際化対応に必要な非常勤講師も任用し県の加配と併せて配置し、指導を行う。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度（目標）
	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
			令和元年度（決算）		令和2年度（決算）		令和3年度（予算）	
全体事業費（千円）A+B			19,110		87,051		8,390	
財源内訳	直接事業費A		18,846		86,787		8,108	
	うち一般財源		18,846		62,327		8,108	
人件費（千円）B			264		264		282	
内訳	一般職員（人・千円）		0.04		264		0.04	
	臨時職員（人・千円）				0		0	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画		③取組の課題	
②R2年度に実施した取り組み	新型コロナウイルスへの対策として、非接触型体温計やアルコール消毒液、扇風機や空気清浄機などを購入、熱中症対策として、テントや冷風機を購入した。また、GIGAスクール用タブレットを児童数分購入した。	④今後の改善計画	新型コロナウイルスの拡大により、新しい生活様式に係る環境整備が必要。



令和2年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	16-	9
事業名	教育振興経費（中学校費）	
会計	款	項
一般	10	3
目	2	
政策	5 子どもたちの生きる力を育むために	
課名	学校教育課	
施策	5-1 幼児教育・学校教育の充実	
係名		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	各中学校の生徒	目的 (対象がどのような状態になっているか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業改善を行い教師の指導力を向上させる。</li> <li>・いじめ、不登校等の未然防止、早期発見、早期対応を可能にする。</li> <li>・生徒の課題解決能力を高める。</li> </ul>
事業内容	①〔学力向上推進事業〕総合学力調査を定期的実施する。その結果において、D層に入っている生徒をC層以上へ引き上げるためにどう授業を改善したらいいかを各校で考える。 ②〔不登校児童生徒対策事業〕QU調査（学級生活満足度調査）を学期に1回実施し、生徒や学級の状況を把握する。課題については、全職員が共有し、改善、解消に向けて具体的な取組を行う。 ③〔特色ある学校づくり事業〕学校裁量の予算措置をすることによって、学校独自の計画に基づいた主体的かつ特色ある教育活動を推進する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度（目標）
	1	目標値に達した児童数の割合（国・算）	83.6	86.8	81.1	%		82.5
2	不登校の生徒数	16	18	21	人		0	
3								
4								
5								
			令和元年度（決算）		令和2年度（決算）		令和3年度（予算）	
全体事業費（千円）A+B			18,672		13,283		18,463	
財源内訳	直接事業費A		18,474		13,085		18,265	
	うち一般財源		16,764		11,526		16,498	
人件費（千円）B			198		198		198	
内訳	一般職員（人・千円）		0.03		198		0.03	
	臨時職員（人・千円）		0		0		0	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	全生徒を対象に総合学力調査（IRT）を実施し、D層10%未満を目標に学力向上と授業力改善を図る。全生徒を対象に学級満足度調査（QU調査）を実施し、個々にきめ細かい支援を行い、より良い学級集団作りに活用する。	③取組の課題	IRTにおいては、D層10%未満生徒に焦点を当てた、個別指導や授業改善をさらに進める必要がある。
②R2年度に実施した取り組み	全校全学年においてIRTの結果を行い、D層の生徒を焦点化しながら、学力向上が図れる授業作りに取り組み。年間3回（1年生は2回）のQU調査結果に基づき、個々や学級の状況を把握し、問題行動や不登校の未然防止や早期対応に活かす。	④今後の改善計画	前年度に引き続き、IRTやQU調査の結果を効果的に活用し、問題行動や不登校の未然防止や早期対応に努め、きめ細かい支援を行う。

令和2年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	16-	10	
事業名	教材整備費（中学校費）	会計 一般	款 10	項 3	目 2
政策	5 子どもたちの生きる力を育むために	課名	学校教育課		
施策	5-1 幼児教育・学校教育の充実	係名			

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象 各中学校の生徒	目的 (対象がどのような状態になっているか)	より良い環境で教育を受けることができる。
事業内容	中学校教育に必要な教材（消耗品・備品・教科書等）を購入する。		

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度（目標）
	1						
	2						
	3						
	4						
	5						
			令和元年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（予算）		
全体事業費（千円）A+B				3,829	3,834	9,232	
財源 内訳	直接事業費A			3,829	3,834	9,232	
	うち一般財源			3,829	3,834	9,232	
人件費（千円）B				0	0	0	
内訳	一般職員（人・千円）			0	0	0	
	臨時職員（人・千円）			0	0	0	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性		有効性	目標達成度	
		町関与の必要性		効率性	対象者の適切性	
					コストの削減	
総合評価	II 継続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画		③取組の課題	
②R2年度に実施した取り組み		④今後の改善計画	

令和2年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	16-	11	
事業名	特色ある学校づくり事業経費（中学校費）	会計 一般	款 10	項 3	目 2
政策	5 子どもたちの生きる力を育むために	課名	学校教育課		
施策	5-1 幼児教育・学校教育の充実	係名			

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象 各中学校の生徒	目的 (対象がどのような状態になっているか)	・地域や子どもたちの状況に応じた学校独自の教育を受けることができる。		
事業内容	【特色ある学校づくり事業】学校裁量の予算措置をすることによって、学校独自の計画に基づいた主体的かつ特色ある教育活動を推進する。				

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度（目標）
	1						
	2						
	3						
	4						
	5						
			令和元年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（予算）		
全体事業費（千円）A+B					569		
財源 内訳	直接事業費A				569		
	うち一般財源				569		
人件費（千円）B				0			
内訳	一般職員（人・千円）				0		
	臨時職員（人・千円）				0		

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性		有効性	目標達成度	
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	
					コストの削減	
総合評価	II 継続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画		③取組の課題	
②R2年度に実施した取り組み		④今後の改善計画	

令和2年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	16-	12	
事業名	幼稚園運営費	会計	款	項	目
政策	5 子どもたちの生きる力を育むために	一般	10	2	2
施策	5-1 幼児教育・学校教育の充実	課名	学校教育課		
		係名			

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象 幼児期の園児	目的 (対象がどのような状態になっているか)	発達課題 (自律性、自主性) や学びの連続性を踏まえた就学前教育を充実させる。
事業内容	① [臨時職員賃金] 充実した園運営ができるよう臨時職員を適材適所で任用する。 ② [医師・歯科医報酬費] 健全な健康管理が行えるよう医師会と連携する。 ③ [普通旅費] 県内外への園外研修を保障する。 ④ [スポ振負担金] 園で起きた事故等による園児の怪我の治療費を保障する。 ⑤ [一般消耗品費] 子どもが伸び伸びと使える画用紙や折り紙等を保障する。 ⑥ [社会見学補助金] 全額保護者負担にならないよう社会見学の一部を補助する。		

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度 (目標)
	1						
	2						
	3						
	4						
	5						
			令和元年度 (決算)	令和2年度 (決算)	令和3年度 (予算)		
全体事業費 (千円) A+B		39,756		25,414	25,353		
財源内訳	直接事業費 A	39,558		25,216	25,137		
	うち一般財源	31,930		10,071	11,677		
人件費 (千円) B		198		198	216		
内訳	一般職員 (人・千円)	0.03	198	0.03	198	0.03	198
	臨時職員 (人・千円)		0	0	0	0.01	18

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	C必要性は低下すると考えられる	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	幼児教育の無償化に伴い、町内の保育ニーズも高まっている、幼稚園児は減少しているが園児数は全体で上げていく必要がある。	③取組の課題	保育園の利用者が増加し、幼稚園児が減少している。
②R2年度に実施した取り組み	安心して仕事と子育てが両立出来る環境での保育運営を行ないました。	④今後の改善計画	幼児教育の無償化に伴い、保育園のニーズが高まっており、幼稚園児が極端に減少している。